

愛知県立足助高等学校 足助高校通信

学校長より

令和3年度第1学期が終了いたします。この第1学期は昨年度と違い、ほぼ通常通り、予定通りの行事を実施することができました。これも生徒の皆さん、保護者の方々、また先生方が感染予防対策をしっかりと行い、十分な準備のもと計画的に実施できたからだと思います。あらためて感謝いたします。体育大会、修学旅行など、第2学期以降も多くの行事が計画されています。感染対策、健康に十分注意し、充実した学校生活を送れるよう頑張っていきましょう。

さて、これまでに全校集会等で様々なお話をしてきました。

人工知能の発達により近い将来、今ある仕事の90%は機械に置き換わるとか、15年後には今ある仕事の50%はなくなると言われています。そんな時代に我々はどのようにしたらよいのでしょうか。ポイントは「ぼーっと生きてんじゃねえよ」です。自分の身の回りの様々なことに対して、疑問や気づきが大切であり、何も考えず与えられたことをそのままやるとか、周りがやっているから自分も同じように行動する、ではなく、よく考えることが大切です。例として、ウグイスを上げました。ウグイスの姿は確認できましたか。身の回りにはまだまだ工夫できる事や気がつかないヒントやチャンスにあふれています。ぼーっと生きていては気がつかないかもしれません。少し見方や考え方を変える努力が必要です。

また、こんな話もしました。「願いをかなえる最大のコツは、喜ぶことである。」つまり、かなえたい夢があるときは、先に夢がかなったことにしてお祝いしてしまおう！ということです。身近な例には「お花見」が挙げられます。なぜ日本人はお花見をするのか。お花見は古代の人たちが実践していた、夢をかなえるための引き寄せの行事でした。古代の人々の一番の願いは、稲がたわわに実り、お米がしっかり取れることであり、その願いを引き寄せるために、春に満開に咲く桜を秋の稲の穂に見立てて、仲間とわいわいお酒を飲みながら先に喜び、お祝いすることで願いを引き寄せようとしたそうです。でも、お祝いだけではだめですよ。まずは一生懸命努力しなければいけません。部活動や勉強やその他今一生懸命に努力していることがある人は前祝いをして、夢を引き寄せましょう。

努力に関してはこんな話もしました。「努力は必ずしも報われるとは限らない。しかし、成功したものは皆、努力している。」努力しても必ずそれが報われ、うまくいくとは限らない。でもうまくいった人、実績を残した人は皆、努力を続けた人です。決して簡単な事ではありませんし、重みのある言葉です。

また、努力の先、様々な苦労や経験は、必ず将来の出来事につながっているとも伝えました。思い返してみると、「あの時のことは、ああ、今の自分につながっていたのか」と思う瞬間が必ず来ます。でも、それに気が付くためにも、今を一生懸命生きることが大切です。

私がこの1学期に一貫して伝えたかったこと、それは「自分で考える、自分で行動する。そして考えて行動すれば、また次の問題や課題や様々な事が見えてくるようになる。」ということです。AI（人工知能）の発達や新型コロナウィルスの蔓延によって、これまでの価値観や考え方は通用しなくなってきています。新しい時代を生き抜くためには、「人についていけばいい」、「人に言われたことだけやればいい」ではだめです。皆さんには「自ら考えて行動する生きる力」を身に付けて欲しい。急にはできないかもしれませんが、一步一步、少しずつ頑張ってみましょう。皆さんならきっとできます。

(校長 谷上 正明)

入学式 4月6日(火)

令和3年度入学式が挙行され、本校の第73回生50名が入学しました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、来賓を減らし、内容を一部変更しての開催となりましたが、無事挙行することができました。PTA会長をはじめ保護者の皆様方、ご臨席ありがとうございました。校長先生の式辞の中であった「自分のことは自分でやる」「人を思いやる心」「何事にも全力で取り組む」という3つのメッセージを生徒たちは心に留めたことと思います。



第1回足助人活動 5月18日(火)

中間考査の最終日に、第1回の足助人(あすけっと)活動を実施しました。足助人活動とは、有志を募って学校周辺の清掃活動を行う本校独自のボランティア活動です。今回は、約100名という多くの生徒が参加してくれ、活気ある活動となりました。今年度も、この活動を定期考査や終業式後の時間を利用して1年間行っていく予定です。



体力テスト 5月26日(水)

今年は例年より梅雨入りがかなり早かったため天候が心配されましたが、晴天の中で行事を行うことができました。グラウンド、体育館、武道場に分かれて全7種目のテストが実施されました。コロナ感染対策を十分に行った上、皆各種目に真剣に取り組んでおり、見ていて清々しかったです。この結果は後日集約され、優秀な生徒には体力章が授与されます。



講話アラカルト

感染症対策を講じながら、様々な講師の方に講話をしていただきました。



情報講話



交通安全講話

体育大会 6月8日(火)

体育大会が行われました。雨で1度延期したものの、予備日は梅雨の中にも関わらず天候に恵まれました。気温が高いため熱中症にも注意が必要でしたが、各クラス毎に用意されたテントにより無事に行うことができました。コロナ対策のため、競走競技以外はマスクをつけて行われました。

このような状況下でも、生徒たちは体育大会を楽しみながら全力で競技に参加していました。大縄跳びでは、平成7年の大会記録とタイの記録が生まれました。



学校企業見学会(2年生) 7月1日(木)

期末試験の翌日に学校企業見学会が行われました。2年生の生徒たちが、企業見学、専門学校見学、大学見学の3コースから、自分の将来を見据えた選択をしてそれぞれのコースに参加しました。

どのコースに参加した生徒も、実物や実演を目の当たりにしたり、企業や学校の方の話を直接聞いたりしたことで、将来について具体的に考える機会になったようでした。企業見学では、実際に工場の中を見学して現場の雰囲気を感じたことや、企業の一員でありながらも個人の裁量に任される部分があることに感銘を受けている生徒が多く見られました。専門学校見学では、設備の充実ぶりや体験型の紹介に生徒は興味を持って参加できたようです。また、大学見学では、大学ならではの設備や授業システム等の紹介を受けて、自分の大学生活を思い描いた生徒も多かったことと思います。



三井屋工業株式会社



名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校



東海学園大学



スーパーやまのぶ



愛知美容専門学校



名城大学

観光ビジネス類型

2年生

4月28日(水) 5・6限 足助観光協会 足助の町並みツアー

豊田市足助観光協会田口会長の案内で香嵐溪ならびに足助の町並みツアーを実施しました。当日は、あいにくの雨ではありましたが、生徒は事前学習として、無電柱化された町について調べ学習を行い、足助の町を歩いて、実際に見て学ぶこともできました。



6月10日(木) 1限 足助支所 地域振興課 講話

足助支所地域振興課の皆様から、「足助の現状と今後の展開について」をテーマに講演をしていただきました。山間部の人口減少の問題や、若い世代が山間部に移住してくること、高校生に期待したいことなど、生徒は地域の実情について多く学ぶことができました。



3年生

4月23日(金) 1・2限 観光ガイドマップ作成

5月末日に豊田市立前山小学校が、足助の町で総合的な学習の時間として、足助の歴史を学ぶことになり、高校生が小学生に楽しんでもらえる仕組みを考えることになりました。チェックポイントの看板づくりやスタンプラリーのマップ作成など、小学生をおもてなしするために、生徒みんなで相談して、準備をしました。

(緊急事態宣言が発令されていたため、2学期以降へ延期になりました。)



6月11日(金) 5・6限 足助の事業者の方を招いて、課題研究発表会

3年生観光ビジネス類型の課題研究のテーマは「足助に不足しているモノやコト」です。この日は生徒たちが課題とした内容を、町の事業者の方2名に発表を行いました。「森を切り開いてアスレチックを作りたい」、「ホームページを活性化させたい」、「ファーストフード店をやってみたい」、「足助で冬のイベントを開催してみたい」「町にゴミ箱を設置したい」この5つについて報告し、事業者の方からアドバイスをいただきました。



コロナ禍はまだまだ続いています、今年度の1学期は概ね学校行事を行うことができました。しかしながら、まだまだ新型コロナウイルスは猛威を振るっています。引き続き感染予防に努めた生活を続けていきましょう。

次回みなさんが登校する日は、全校出校日の**8月4日(水)**です。
楽しく充実した夏休みを過ごしてください。

愛知県立足助高等学校

住所：豊田市岩神町川原5

電話：0565-62-1661

ホームページ：

<http://asuke-h.aichi-c.ed.jp>